

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

## 化学品の名称

【製品名】 スバリオG  
ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム 60%

## 使用上の制限

推奨用途以外で使用する際には、化学物質専門家等に相談し、当該用途における安全対策を十分に講じること。

## 会社情報

【供給者】 サイブ株式会社  
福岡市博多区美野島3-14-6  
電話番号 092-292-1874 FAX番号 092-292-8777  
メールアドレス saibu-n@saibu-n.co.jp  
【緊急時の連絡先】 供給者に同じ

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

酸化性固体 区分2

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分4  
皮膚腐食性/刺激性 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A  
特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2 (全身毒性)  
区分3 (呼吸器への刺激のおそれ)

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分1  
水生環境有害性 長期(慢性) 区分1

## GHSラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報および注意書き(Pコード)

H272 火災助長のおそれ:酸化性物質  
P210、P220、P280、P370+P378、P501  
H302 飲み込むと有害  
P264、P270、P301+P312、P330、P501  
H315 皮膚刺激  
P264、P280、P302+P352、P321、P332+P313、P362+P364  
H319 強い眼刺激  
P264、P280、P305+P351+P338、P337+P331  
H335 呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)  
P261、P271、P304+P340、P312、P403+P233、P405、P501  
H371 臓器の障害のおそれ(全身毒性)  
P260、P264、P270、P308+P311、P405、P501  
H400 水生生物に非常に強い毒性  
P273、P391、P501  
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性  
P273、P391、P501

## 注意書き(Pコード)

## 安全対策

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
P220 衣類および可燃物から遠ざけること。  
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

- P264 取扱い後は、暴露していた皮膚、手をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P301+P312 飲み込んだ場合：気分が悪い場合は医師/医療機関に連絡すること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水/石鹼で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師/医療機関に連絡する事。
- P312 気分が悪い時は医師/医療機関に連絡すること
- P321 特別な処置が必要である
- P330 口をすすぐこと。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P370+P378 火災の場合：消火するために適した消火剤を使用すること。
- P391 漏出物を回収すること。

保管

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

組成及び成分情報

化学名または一般名  
(別名)

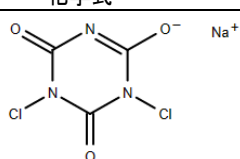
ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム  
塩素化イソシアヌール酸ナトリウム  
トロクロセンナトリウム

(英名)

1, 3-ジクロロ-1, 3, 5-トリアジナン-2, 4, 6-トリオンのナトリウム塩  
ナトリウム=3, 5-ジクロロ-2, 4, 6-トリオキシ-1, 3, 5-トリアジナン-1-イド  
Sodium dichlorisocyanurate  
Dichloroisocyanuric acid, sodium salt  
Troclosene sodium

(IUPAC名)

1,3,5-Triazine-2,4,6(1H,3H,5H)-trione, 1,3-dichloro-, sodium salt  
sodium 3,5-dichloro-2,4,6-trioxo-1,3,5-triazinan-1-ide  
sodium;1,5-dichloro-4,6-dioxo-1,3,5-triazin-2-olate

化学式	分子量	含有量※
	219.94	93%以上

※製品の品質を保証する規格値ではありません。

- 化審法官報整理番号 5-1043
- CAS番号 2893-78-9
- EC番号 220-767-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

該当する物質の含有情報無し

4. 応急措置

ばく露経路による応急措置

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で優しく洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診断、手当てを受けること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

<p>眼に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p> <p>急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状</p>	<p>水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。</p> <p>吸入 咽頭痛、咳 皮膚 発赤、痛み、皮膚熱傷 眼 充血、痛み、かすみ目、重度の熱傷 経口摂取 灼熱感、咽頭痛</p>
<p>5. 火災時の措置</p>	
<p>適切な消火剤 大量の水、粉末消火薬剤、アルコール耐性泡消火薬剤、二酸化炭素</p> <p>使ってはならない消火剤 炭酸ガス、水素化炭酸塩の粉末消火剤、アンモニウム塩の粉末消火剤</p> <p>特有の危険有害性 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 加熱されたり、火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。</p> <p>特有の消火方法 消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p> <p>消火を行うものの保護 適切な空気呼吸器、化学防護服(耐熱性)を着用する。</p>	
<p>6. 漏出時の措置</p>	
<p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外が汚染場所へ立入らないようにする。風上から作業をする。風下に人が入らないようにする。 密閉された場所は換気する。呼吸保護具を着用する。 防護服、保護眼鏡、保護手袋を使用し、皮膚、眼に触れないようにする。</p> <p>環境に対する注意事項 この物質を環境中に放出してはならない。 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。</p> <p>封じ込め、浄化の方法及び機材 漏出物を掃き集め、密閉可能な不燃性の容器に回収する。 可燃物に接触させてはならない。</p> <p>回収、中和 漏洩物を掃き集めて不燃性の空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水に接触したものは分解して塩素など有毒なガスを発生するおそれがあるので、多量の水での希釈と還元剤による中和を行う。</p> <p>二次災害の防止策 一般市民、環境への影響が懸念される場合には直ちに消防署、保健所、警察署、当社へ連絡する。</p>	
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p>	
<p>取扱い</p> <p>技術的対策 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>安全取扱注意事項 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 衣類および可燃物から遠ざけること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は、暴露していた皮膚、手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p>	

<p>接触回避 「10.安定性及び反応性」を参照。</p> <p>保管 技術的対策 保管場所は遮光する。換気装置を設置する。高温にならないようにする。</p> <p>安全な保管条件 施錠して保管すること。 容器を密閉して乾燥状態で保管すること。 高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所で保管すること。 混触危険物質と離して保管すること。 食料、飼料から離して保管すること。</p> <p>容器包装材料 十分な強度を持ち、成分(分解物の塩素)による腐食の恐れのない容器を使用する。</p>	
8. 暴露防止及び人に対する保護措置	
<p>管理濃度 設定されていない</p> <p>許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標) 日本産衛学会 設定されていない ACGIH 設定されていない</p> <p>設備対策 作業所においては、密閉された装置、機器又は局所換気装置を使用する。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>保護具 呼吸用保護具 局所排気、呼吸用保護具を使用する。 手の保護具 浸透するおそれのない保護手袋を着用する。 眼の保護具 顔面シールド又は眼用保護具と呼吸用保護具を併用する。 皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣、顔面用保護具を着用する。</p>	
9. 物理的及び化学的性質	
<p>物理的状態、形状、色 におい pH 融点・(凝固点) 沸点・(初留点及び沸騰範囲) 引火点 爆発範囲 蒸気圧 蒸気密度(空気=1) 比重(密度) 溶解度 n-オクタノール/水分配係数 自然発火温度 分解温度 粘度(粘性率)</p>	<p>粉末～結晶性粒状 白色 塩素臭 6.0～7.0(1%水溶液) 230℃で分解 データ無し 不燃性 データ無し データ無し データ無し データ無し 1g/cm<sup>3</sup>以上 30.0 g/100 g 水(25℃) : Ullmanns (E) (6th, 2003) データ無し データ無し 230℃ データ無し</p>
10. 安定性及び反応性	
<p>反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性  避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p>	<p>酸化剤としての性質を有する。 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 熱、水分により分解する。 可燃性物質、還元性物質と反応して発火、または爆発のおそれ。 高温、多湿、直射日光 可燃性物質、還元剤、強塩基、アンモニア、アンモニア塩、尿素、他の塩素系薬剤 塩素、塩素系化合物、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素</p>
11. 有害性情報	
<p>急性毒性 経口 経皮 吸入 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸感受性 皮膚感受性</p>	<p>GHS分類: 区分4 (飲み込むと有害) GHS分類: 区分に該当しない GHS分類: 区分に該当しない GHS分類: 区分2 (皮膚刺激) GHS分類: 区分2A (強い眼刺激) 分類できない 分類できない</p>

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	GHS分類: 区分2 (全身毒性)
	GHS分類: 区分3 (呼吸器への刺激のおそれ)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
<b>12. 環境影響情報</b>	
生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	GHS分類: 区分1 (水生生物に非常に強い毒性)
水生環境有害性 長期(慢性)	GHS分類: 区分1 (長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性)
生体蓄積性	データ無し
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されていない。
<b>13. 廃棄上の注意</b>	
残余廃棄物	<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。</p>
汚染容器及び包装	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
<b>14. 輸送上の注意</b>	
国際規制	
国連番号	2465
Class or Division	5.1
Name and Description	DICHLOROISOCYANURIC ACID, DRY or DICHLOROISOCYANURIC ACID SALTS
UN Packing Group	II
国内規制	
海上規制情報	船舶安全法(酸化性物質)の規定に従う。
航空規制情報	航空法(酸化性物質)の規定に従う。
陸上規制情報	道路法(酸化性物質)の規定に従う。
特別安全対策	<p>移送時にイエローカードの保持が必要。</p> <p>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>重量物を上積みしない。</p>
緊急時応急措置指針	140
<b>15. 適用法令</b>	
化審法	
分類	既存化学物質
化審法官報整理番号	5-1043
類別	5類
官報公示名称	ジクロロイソシアヌール酸塩(K, Na)
化管法(PRTR法)	非該当
労働安全衛生法	
分類	ラベル表示・SDS等交付の義務対象物質に新たに追加する物質
政令番号	規則別表第2の801
適用時期	令和8年4月1日施行予定
物質名称	1, 3-ジクロロ-1, 3, 5-トリアジン-2, 4, 6(1H, 3H, 5H)-トリオン=ナトリウム塩
表示の対象となる範囲(重量%)	≥ 1
通知の対象となる範囲(重量%)	≥ 1
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当

ジクロロイソシアヌール酸ナトリウム

船舶安全法

酸化性物質類・酸化性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

引用文献

- 1) GHS分類データベース(経産省)
- 2) GHSに基づく化学物質等の分類方法(JIS Z7252:2019)
- 3) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法(JIS Z7253:2019)
- 4) 原料購入メーカー(SDS情報)
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- 6) 独立行政法人 労働者健康安全機構
- 7) その他

注意

本SDSは、作成時において入手できた情報及び原料メーカーの知見に基づき作成していますが、必ずしも十分ではない可能性があり、完全な保証をするものではないため、取り扱いにはご注意ください。  
また、注意事項等は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、条件に適した安全対策を実施の上で、お取り扱い願います。

この物質を他者へ譲渡又は提供される場合は、SDS提出による有害危険情報の通知が義務となります。  
このSDSを提出する際には、譲渡・提供者の名称、住所及び電話番号を下空欄へ記載、又は記載された文書を添付して下さい。